

二級水系も含めた全国の河川で事前放流の体制を整え、出水に備えます！**～事前放流の実施に関する治水協定の締結状況～**

国が管理する1級水系に続いて、都道府県が管理する2級水系についてもダムの事前放流による効果が見込める321水系において治水協定に合意しました。

今後、台風等による大きな降雨が予測される場合には、全国の各水系において事前放流を行い、洪水リスクの一層の軽減を図ってまいります。

令和元年12月に策定された「既存ダムの洪水調節機能の強化に向けた基本方針」に基づき、国が管理する1級水系では、ダムのある全99水系において治水協定に合意し、令和2年6月から事前放流の運用を開始していますが、都道府県が管理する2級水系についても、ダムのある355水系のうち、海に近い位置のダムのように事前放流の効果が見込めないダムしかない水系等を除いた321水系において治水協定に合意しました。

※事前放流：水力発電、農業用水、水道等のために確保されている利水容量を活用して、台風の接近などにより大雨となることを見込まれる場合に、大雨の時により多くの水をダムに貯められるよう、河川の水量が増える前にダムから放流して一時的にダムの貯水位を下げることに。

<治水協定^{※1}に合意した水系数、ダム数>

	水系数	ダム数
1級水系	99水系 ^{※2}	955ダム
2級水系	321水系 ^{※3}	479ダム
合計	420水系	1,434ダム

※1：事前放流の実施条件等を定めたものとして、河川管理者と関係利水者等で締結するもの。

※2：1級水系のダムのある全ての水系の数。

※3：2級水系のダムのある355水系のうち、ダムが海に近い位置にある水系等を除いた水系の数。

(参考) 関連資料

○既存ダムの洪水調節機能の強化に向けた基本方針(令和元年12月12日)

https://www.kantei.go.jp/jp/singi/kisondam_kouzuichousetsu/pdf/kihon_hoshin.pdf

○既存ダムの洪水調節機能の強化について

<https://www.mlit.go.jp/river/dam/pdf/kisondam.pdf>

《問い合わせ先》

国土交通省 水管理・国土保全局 河川環境課 流水管理室
企画専門官 小澤 盛生 (内線：35472)
水利係長 永田 佳之 (内線：35485)
代表：03(5253)8111 直通：03(5253)8449 FAX:03(5253)1603